

# ほっかいどう 広報紙

北海道が わかる つながる かわる  
— 年6回 奇数月にお届けします —

2012  
**11**月  
平成24年11月発行  
通巻195号

特集 北海道の環境を、未来へつなぐために

## 豊かな環境を守りながら、 自然エネルギーの活用など 未来の北海道づくりを進めています。

豊かな自然環境は、北海道が世界に誇る貴重な財産です。  
この環境を次世代にしっかりとつなげるためには、  
自然の力を最大限に「活かし、育てる」取り組みが重要です。



北海道の優位性を活かし、  
未来を切り拓くため  
環境・エネルギーの先進地を  
目指していきます。

北海道知事 高橋 博三

環境・エネルギーの取り組みを、もっと地域へ。

●北海道らしさを活かした「エネルギーの地産地消」

北海道洞爺湖サミットをきっかけに地球温暖化防止への機運が高まり、その後、東日本大震災によって暮らしとエネルギーのあり方を見直されるなど、環境・エネルギーの重要性はますます大きくなっています。



上平グリーンヒルウインドファーム (苫前町)

北海道の優れた自然環境は、私たちの暮らしや産業を支える大切な存在。未来のエネルギーを考える上でも大きな可能性を秘めています。特に太陽光、風力、水力、バイオマス、雪氷、地熱などは、北海道の優位性を活かす新エネルギーとして期待されています。

道内のエネルギー資源を地域で効率的に活用する「エネルギーの地産地消」を目指して、道は地域と一緒に取り組みを進めています。



伊達ソーラー発電所 (伊達市)

●新エネを応援、省エネにもしっかり取り組む

道では、北海道らしい、地域に根ざした新エネルギーの開発・導入促進に力を入れています。太陽光発電をはじめ新エネルギー関連産業の誘致や、道内の先進的な技術開発に対する支援などを進め、北海道の可能性をさらに高めていきます。

また、家庭や企業での省エネの取り組みも重要です。エネルギーを賢く使うための行動を、皆さんも日常生活の中でぜひ実践しましょう。

未来のために、森林資源を育て、活用しよう。

北海道の自然環境は、地球温暖化防止の面でも、日本や世界に貢献する大きな役割を持っています。森林が豊かであるほど、温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスをより多く吸収してくれるからです。

こうした森林資源を活かした環境活動として、近年では企業などが排出した温室効果ガスを森林による吸収などで埋め合わせるカーボン・オフセット※という方法が注目されています。

道では、森林の適切な整備管理を進めながら、企業や市町村などと連携してカーボン・オフセットの取り組みを進めています。

※カーボン・オフセットの詳細内容は、中面をご覧ください。

この冬、節電&省エネに取り組もう！

この夏の7%の節電要請期間においては、家庭や企業などで道民の皆さんにできる限りの節電にご協力いただき、誠にありがとうございました。この冬の電力需給も厳しい状況が見込まれていますが、道では、夏の取り組みを踏まえ、必要な対策についてしっかりと取り組んでいきます。

環境のために、  
どんな取り組みを  
しているのかな？



キャラクター  
コウボウ氏



省エネ・新エネ  
キャラクター  
エネーズ

こまめさん

また、道民の皆さんが、普段から節電・省エネに取り組んだり、生活のしかたを見直していくことは大変重要です。次の例を参考に、暮らしの中で身近にできる節電に取り組みましょう。皆さんのできる限りのご協力をお願いいたします。

〈身近な節電ポイントの例〉

- 使っていない部屋の電気は消す
- 長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く
- 温水洗浄便座の設定温度を低めにする



環境忍者 えのこ之助

ほっかいどう・省エネ3Sキャンペーン  
「冬の陣」が始まります。

道では「Save(節約)」「Select(選択)」「Shift(転換)」の3つの「S」をキーワードに、省エネ行動を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

12月からは、電気やガスの使用量を削減した方に、抽選で素敵なプレゼントを差し上げます。

詳しくは事務局 ☎(011)214-5142  
※土・日・祝を除く10～17時へお問い合わせ  
いただくか、ホームページをご覧ください。

3S北海道



# 先進的な取り組みで、北海道の優位性を高めていきます。

道では、北海道のすばらしい環境を守っていくために、気候風土や豊富な資源を活かした環境・エネルギーの取り組みを進めています。

## 二酸化炭素削減の工夫、カーボン・オフセットで連携

### ●豊富な森林資源を活かした温暖化対策

近年では、環境意識の高まりから、社会貢献活動として温暖化対策の一つであるカーボン・オフセット\*に取り組み企業が増えています。

道では、豊富な森林資源に恵まれた北海道の地域特性を活かして、こうした取り組みを行う企業を支援するほか、道有林を活用したカーボン・オフセットの取り組みや市町村と連携した活動を進めることにより、北海道らしい温暖化対策を進めています。

### ■カーボン・オフセットのしくみ



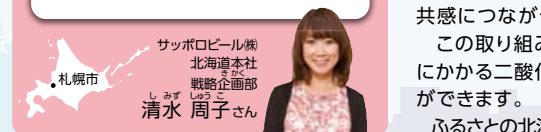
※カーボン・オフセットとは  
カーボンとは「二酸化炭素」、オフセットとは「埋め合わせ」の意味。カーボン・オフセットとは、自分の二酸化炭素排出量のうち、どうしても減らせない量について、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせること。

### ●北海道の森を元気にするキャンペーン

企業が取り組むカーボン・オフセットの例として、サッポロビールがこしから始めた「北海道の森に乾杯」キャンペーンがあります。同社が製造販売するビールを対象商品とし、ビールの消費量に応じて、事業締結先である足寄町・下川町・滝上町・美幌町の森林保全を支援するしくみ。同社系列のサッポロライオンで期間限定キャンペーンを年3回実施しており、消費者参加型のカーボン・オフセットとして注目されています。

援するしくみ。同社系列のサッポロライオンで期間限定キャンペーンを年3回実施しており、消費者参加型のカーボン・オフセットとして注目されています。

大切な北海道への恩返しとして環境保全に取り組んでいます。



お客さまであるビール消費者が気軽に参加できる取り組みとして、このキャンペーンを企画しました。「ビールを飲んで、北海道の森を元気にしよう」とわかりやすく呼びかけ、難しい環境用語を使わないなどの工夫をしたことが皆さまの共感につながったようです。この取り組みによって当社は、1杯あたりのビール製造や物流拠点までの輸送にかかる二酸化炭素排出量の約5倍を、森林保全活動を通じて埋め合わせることができます。ふるさとの北海道に恩返しする意味でも、環境保全は私たちの使命と考えています。

## 自然の力を活かし、エネルギーの地産地消

### ●北海道は雪氷エネルギーの先進地

雪氷エネルギーとは、冬に降り積もった雪や、冷たい外気によって凍結した氷などを夏まで保存しておき、冷房や冷蔵のエネルギーとして有効活用するものです。



約3,600トンの雪を集めて貯雪室へ

雪氷エネルギーを道内でも早くから農業分野で活用しているのが、美幌市農業協同組合です。米穀雪氷貯蔵施設「雪蔵工房」は、玄米約6,000トン貯蔵する施設として国内最大。春先に大量の雪を貯雪室に集め、そこから冷風を送って、玄米保管用の貯蔵室との間で効果的に循環させるしくみです。

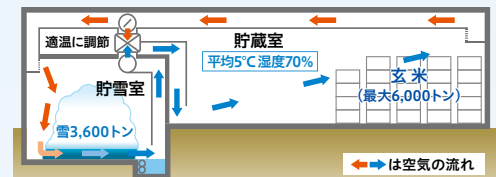
### ●玄米を高品質のまま低温貯蔵

雪氷エネルギーを道内でも早くから農業分野で活用しているのが、美幌市農業協同組合です。米穀雪氷貯蔵施設「雪蔵工房」は、玄米約6,000トン貯蔵する施設として国内最大。春先に大量の雪を貯雪室に集め、そこから冷風を送って、玄米保管用の貯蔵室との間で効果的に循環させるしくみです。これにより、夏場でも室温約5℃、湿度約70%の最適な環境で玄米を貯蔵することができ、おいしさが安定。年間を通じて地元産米の品質保持に役立っています。

これにより、夏場でも室温約5℃、湿度約70%の最適な環境で玄米を貯蔵することができ、おいしさが安定。年間を通じて地元産米の品質保持に役立っています。

▶道庁環境・エネルギー室 ☎(011) 204-5319

### ■雪氷エネルギーのしくみ(雪蔵工房の例)



玄米に最適な環境を保つ貯蔵室

きれいな雪のおかげで新米の香りをお届けできます。



玄米を5℃近くに冷やすと、高品質のまま貯蔵することができます。これを電気で行うと大変なコストですが、「雪蔵工房」は雪による冷房なので約半分のコストで済みます。最大の利点は、貯蔵室の空気がきれいで、新米の香りを保ったまま出荷できること。冷風を循環させることで、空気中の不純物を雪が吸着してくれるからです。雪がきれいで密度が均一であるほど効果が上がるので、雪の搬入時にはとても気を遣います。その他、アスパラ用の別の保管庫でも、鮮度保持に雪を活用しています。

**お届けします!**

# 赤れんが

道からのお知らせです。お問い合わせはマークの窓口、またはホームページへ。

## 北海道立消費生活センター 困ったときはご相談ください

- 悪質商法や不当請求などの契約トラブルや商品の安全性などの相談を承ります。トラブル防止には次の点に気をつけましょう。
- ◎トラブルに遭わないための5カ条
- 1 知らないときは、キッパリ断ろう!
  - 2 「絶対儲かる!」などのうまい話に要注意!
  - 3 心当たりがない電話・メール、怪しいサイトは無視!
  - 4 家族や身近な人に相談しよう!
  - 5 困ったときは消費生活相談窓口へすぐ相談!
- ▶道立消費生活センター ☎(050) 7505-0999(平日9時~16時30分)

## 北海道遺産を守る

電子マネーで遺産の保全活動に協力できます

次の世代に残したい北海道の宝物「北海道遺産」として、雨竜沼湿原や摩周湖など52件が選定されています。

道とイオン(株)との包括連携協定に基づき、イオン北海道(株)とマックスバリュ北海道(株)から発売されている電子マネー「ほっかいどう遺産WAON」の利用額の一部は、NPO法人北海道遺産協議会を通じて北海道遺産の保全活動などに活用されています。

▶道庁地域づくり支援局 ☎(011) 204-5149

## 道立高等技術専門学院・北海道障害者職業能力開発校 平成25年4月入学生を募集

就職に向け技術の習得を目指す方が対象の公共職業能力開発施設です。高等技術専門学院は工業、建築、電気・電子など、障害者職業能力開発校は障がいに応じて建築デザインなどを学ぶことができます。

訓練科目や定員など、詳しくはホームページをご覧ください。

◎受付期間

高等技術専門学院	普通課程	平成24年11月1日(木)~20日(火)
	短期課程	平成24年12月1日(土)~平成25年1月20日(日)
障害者職業能力開発校		平成24年11月1日(木)~20日(火)

◎所在地

道立高等技術専門学院 ☎(011) 204-5359

## 個人事業税の納期限は11月30日(金)です 忘れず納めましょう

納付書がお手元ない場合は、お近くの総合振興局・振興局または道税事務所にご連絡ください。便利な口座振替もご利用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

▶道庁税務課 ☎(011) 204-5061

## 鳥インフルエンザ対策 野鳥との接触にはご注意ください

ことしも鳥インフルエンザの発生、まん延を防ぐため、道民や来道された方々のご協力をお願いします。死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけても、素手で触らないようにしましょう。また、必要のあるとき以外は鶏などを飼養する農場への立ち入りは避けましょう。

▶道庁畜産振興課 ☎(011) 204-5441

## ノロウイルスによる 感染性胃腸炎・食中毒の予防 正しい手洗いが予防の基本です

ノロウイルスによる胃腸炎は12月ごろから発生件数が増加、1~3月がピークとなる傾向にあり、冬に向けて注意が必要です。十分な手洗い、食品の加熱調理、吐物や糞便の適切な処理などで感染を予防しましょう。

▶道庁地域保健課 ☎(011) 204-5253

## ●函館美術館 (没後30年) 植木蒼悦展

孤高・清貧の異色画家として知られ、道南の美術界に特異な位置を占める植木蒼悦(1896~1982年)の水墨画、油彩画、書などを紹介します。

◎期間/平成24年11月17日(出)~平成25年1月20日(日)

◎休館日/月曜日(12月24日、1月14日を除く)、12月25日(火)、1月15日(火)、年末年始(12月29日~1月3日)

◎時間/9時30分~17時(入場は16時30分まで)

◎観覧料/一般600円、高校生400円、小・中学生200円

▶道立函館美術館 ☎(0138) 56-6311

報告します!

# 道議会

北海道議会の概要をお知らせします。

- 平成24年第3回定例会 (9/11~10/5)
- 知事から投資単独事業費53億円を含む「平成24年度一般会計補正予算」や「北海道グリーンニューディール基金条例の一部を改正する条例案」など、35件の議案が提出され、すべて原案可決、同意議決したほか、諮問案件2件は棄却すべき旨答申しました。本会議では、防災対策、原子力の安全対策、地域医師確保対策、道立病院改革プラン、エネルギー政策、観光振興、食の安全・安心対策、飼料価格の高騰対策、いじめ問題など、道政上の諸課題について、4人の議員が代表質問、23人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。また、議員及び委員会提出案件として、決議案(1件)、意見案(8件)を原案可決しました。
- 可決した議員提出決議案(全1件)
- 大間原発の建設再開に抗議し説明責任を果たすよう求める決議
- 可決した議員・委員会提出意見案(全8件)
- 我が国の領土・主権の護持等に関する意見書
  - 中小企業に対する金融対策の充実を求める意見書
  - 消費者のための新たな訴訟制度の創設を求める意見書
  - 高齢者施策を担うシルバー人材センターに関する意見書
  - 北海道における今冬の電力需給に関する意見書
  - 配偶者暴力(DV)被害者支援の一層の推進を求める意見書
  - 配合飼料価格の高騰対策に関する意見書
  - 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

～ホームページをご覧ください～

道議会ホームページでは、さまざまな情報をご覧いただけます。本会議、予算特別委員会等のライブ中継を行っております。予算特別委員会は、総括質疑のほか、各分科会も中継していますので、ぜひご覧ください。

次回定例会のお知らせ

平成24年第4回定例会は、11月28日(水)開会予定です。日程などの最新情報は、ホームページなどでご確認ください。

北海道議会 検索

▶議会事務局政策調査課 ☎(011) 204-5691



ちよびエコ

車の駐停車時にエンジンを止めると、1分あたり約2円の節約でいざる！

※参考/道庁環境推進課「環境行動ハンドブック」

障がい者も、子どもや高齢者も誰もがふれあえる交流の場を目指して。

浜中町地域活動支援センター【浜中町】



手がけ昆布の技を教わる子どもたち

利用者の意思で自由に絵を描いたり、写真を撮ったり、生産や創作活動ができる拠点として取り組む浜中町地域活動支援センター。地域の人々がふれあえる場(共生型事業)として、障がいがあってもなくても、子どもや高齢者も気軽に参加できるパークゴルフ大会やフルーツ狩り、映画鑑賞会などのイベントを年に10回ほど開催。地元産の昆布を手で削る“手がけ昆布(おぼろ昆布)”作りなど、高齢者が子どもたちに伝統文化を伝える行事も好評で、世代を超えた交流も深まっています。

垣根を越えた交流が広がってほしいですね。



ソーシャルワーカー 早川 博司さん

人気のイベントには50~70人の方が参加され、小学生がお年寄りからパークゴルフのコツや手がけ昆布の技を教えてもらううちに、自然と仲良くなっているようです。

小さなまちだからこそ、横の結びつきが大切。たとえば、日常的に児童クラブや老人クラブと障がい者が一緒に活動できるしくみができたら、教育、介護、福祉という壁を乗り越えて、本当の意味での共生が実現できると思います。

▶お問い合わせ 浜中町地域活動支援センター ☎(0153)62-2177

# つながる!ひろがる!

## 北海道物語

世代間の交流編

世代×世代

人と人がつながり、世代間の交流が地域の活性化に結びつく、魅力ある取り組みをご紹介します!

世代×世代

JA新はこだて女性部 上磯支店女性部【北斗市】

地域の食文化を若い世代に伝承するために、JA新はこだて女性部上磯支店女性部では毎年地域ぐるみで“くじらもち”作りを行っています。



米粉を練るときは熱湯を使うのがコツ

くじらもちとは、青森県下北地方から道南に伝わったもち菓子で、端午の節句などに供えたもの。現在は農作業時や地域の集会で食べられ、主な材料はべこもちと同じく米の粉。もともとは白と黒の結び模様が主流で、約40年前から松やアヤメ、菊などカラフルな絵模様を描き始めました。

女性部では小学生や農家以外の女性たちにも熟練の技を伝え、地域の食文化を守り続けています。



色彩が美しくくじらもち

私が子どものころは、法事などに

出されたお菓子です。米粉を練り、色付けした生地を組み合わせて絵模様にするのが難しい作業。切っても同じ柄が出てくる金太郎飴のような細工が必要で、レシピを見てひとりで作れるようなものではありません。私も習得するのに3年かかりました。寿の字を作ったときには、とても驚かれました。

私たち農家が作れるのは主に冬。一般の方に教えたところ、毎月作っていらっしゃる方もいて嬉しいです。

▶お問い合わせ JA新はこだて大野支店営農課 ☎(0138)77-7772

レシピでは伝わらないから、一緒に作りながら覚えてほしい。



くじらもち伝承名人 成田 公子さん

発信します! 道内各地の話題をお届けします。

## 総合振興局 & 振興局

胆振 日高

### 胆振総合振興局 幻想的な室蘭の夜景を体感。

日本四大工場夜景地域のひとつ室蘭市は、産業観光で注目のスポットです。11月10日(土)には「第3回全国工場夜景サミット」を開催し、工場夜景の美しさや力強さなど、その魅力を発信します。

空気が澄む11月は夜景観賞におすすめの季節です。港内を巡るナイトクルージングや夜景スポットで、幻想的な世界を体感してみませんか。

▶一般社団法人 室蘭観光協会 ☎(0143)23-0102 港を囲む工場群の明かりを楽しもう

### 日高振興局 日高でグリーン・ツーリズムを満喫しよう。

馬産地・日高は、農村の自然や文化に触れ、交流や体験を楽しむ余暇活動「グリーン・ツーリズム」におすすめです。

振興局では、元気な農家のお母さんが運営する農産物直売所や、こだわりの職人が育てた牛肉や豚肉を食べられるお店などの情報をホームページで発信しています。

また、農産物直売所マップ「ひだかマルシェ」は、ホームページからダウンロードできるほか、日高管内の道の駅などでも入手できます。皆さん、日高に遊びに来てくださいね。

▶農務課 ☎(0146)22-9341

## 知ってる?北海道自慢

北海道が始まりのものやナンパワンには、こんなエピソードがありました。

### 不可能とされた稲作を 創意工夫であきらめなかった男。

寒冷地稲作発祥の地 **北広島市・恵庭市**

「積雪寒冷地の北海道では稲作は不可能」とされた時代に米づくりに挑んだ中山久蔵。

1871(明治4)年、シママップ(現・恵庭市)に入植し、川の水を温めて水田に注ぐなど不屈の努力で稲作に取り組みました。2年後、月寒村(現・北広島市)に水田を広げ、寒さに強い赤毛種の試作に成功しました。

その後、耐寒性を高めた種もみを開拓農民に無償提供したことから、右狩、空知、上川へと道内の米づくりが広まったのです。

写真提供:北広島市教育部文化課/資料提供:恵庭市企画・広報課

## 北のめぐみプレゼント!

アンケートに答えて道産品を当てよう!

応募者の中から抽選で30名様に、栗のような独特の風味を持つホクレンの北海道産じゃがいも「インカめぐみ」(5kg)をプレゼント!

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

### 次のアンケートにお答えください。

広報紙「ほっかいどう」11月号はわかりやすかったですか?  
①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい

●応募方法: アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先: **ハガキ** 〒060-8588 北海道広報広聴課 **携帯サイト** 「北のめぐみプレゼント!」係

**パソコン**

●応募期限: 11月30日(金)必着

応募いただいた方の個人情報、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。  
※9月号のクイズには3,907件の応募をいただきました(正解は「えこ」でした)。

北海道の人口	平成24年9月末	前年同月比
総人口	5,475,783人	25,248減
男	2,593,463人	14,699減
女	2,882,320人	10,549減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

**UD FONT** **R70** **VEGETABLE OIL INK**

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

次号のお知らせ 1月号は平成25年1月9日(水)から配布予定です。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。

広告